

お元気ですか

南 恵子

です

発行責任者 **日本共産党品川区議会議員 南 恵子** 八潮5-12-65-503

メールアドレス **minami@jcp-shinagawa.com**

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



UR住宅の民営化と家賃値上げはしないよう都市再生機構（UR）と国土交通省に要請

5月27日、日本共産党東京都委員会と吉良よし子事務所主催で独立行政法人都市再生機構と国土交通省にUR住宅の民営化と家賃値上げなどを行わないように要請行動があり、南も参加しました。

要請行動は、衆議院第二議員会館の会議室で行われました。UR住宅入居者の内、65歳以上の高齢者の比率は東京は56・8%、まさに半分以上の方が高齢者だということがわかりました。

要請行動に参加した多くの方から高齢化の現状が紹介されました。例えば、夫が死亡し独り暮らしの妻にとつて家賃負担が重くなっていること、エレベーターのない団地では外出もままならないことなど深刻な事態になっています。

要請内容

（※国土交通省と都市再生機構の両方に同じ内容で要請したので、正確ではない表現があります。）

- ① 民営化に反対すること。
- ② 来年4月予定されている継続家賃改定の際に、値上げはしないこと。3年ごとの値上げは止め、高すぎる家賃を引き下げる。近傍同種の家賃制度は止め居住者の負担能力を考慮した制度にすること。
- ③ 家賃減額制度は拡充すること。高齢者、子育て世帯、若者への軽減制度や支援策を講じること。
- ④ 「ストック再生・再編方針」は中止・撤回し、団地の削減や再編方針の一方的な押し付けは止めること。
- ⑤ 各居室や団地内の改修・修繕に積極的に取り組み、居住環境の改善を図ること。
- ⑥ 居住者の高齢化に対応した対策をすすめ、団地のバリアフリー化やエレベーターの設置を促進すること。子育て支援に関する施策を強めること。

家賃値上げは行わないこ と

URは、家賃設定を「公営住宅ではない」として、近傍同種と比べて周辺の民間マンションとほぼ同額の家賃に設定しています。要請時の答弁も「負担能力で決めるものではない」と言っていました。

しかし、入居時は払っていた家賃も、子どもが独立し、夫婦のどちらかが亡くなって一人暮らしになると、ずっしりと重くなります。年金も少なくなる一方です。八潮のUR住宅居住者からも負担が重く暮らし続けていくのに心細いと聞いています。高齢になっ
てい
る
だ
け
に
引
つ
越
し
も
で
き
な
い
し
、「
ひ
っ
そ
り
と
暮
ら
す
し
か
な
い
」
と
い
う
の
で
す
。

に値上げする方針です。

要請行動では、1面に紹介したように来年4月の継続家賃改定では値上げしないよう必要な措置を取ること、3年ごとの値上げは止めること、家賃減額措置は拡充し、高齢者、障害者、子育て世帯、若者には減額措置を取るよう求めました。

住居内の改修費用は自己負担などんでもない

八潮のUR住宅は今年で30年経つので、壁紙や水回りなど改修が必要になってきています。この問題で南は、URが定めている改修時期はどのくらいの年数なのかを質問しました。すると、外壁塗装や共用部分の問題以外はほとんど自己負担だということです。毎日使う頻度の多い台所

の流し台さえ自己負担です。

翌日、担当課長に問合せて、具体的に聞いた時には、「協議してUR負担で取り換えることもある」と言いましたが、住宅設置者負担が当然ではないか考えます。

東京都住宅供給公社の修繕担当に問い合わせると、計画的修繕として台所の流し一式や風呂呂桶などは取り換えているといいです。実際に、八潮団地内の供給公社住宅に居住している方は、「数年前に風呂桶と台所の流し一式を取り変えてくれた」と話してくれ、実際についていることがわかりました。

自己負担でやれというのはとんでもない、設置者負担でやるべきです。もちろん、使い方が悪ということはあると思いますが・・・。

UR住宅家賃は高すぎる せめて 修繕し快適に暮ら せる環境を整えよ

UR住宅は家賃が高くて、引越しがたえません。落ち着いて住んでいられるように、また、安心して住んでいられるように家賃の値上げではなく引き下げさせようではないでしょうか。

また、高い家賃を払っている居住者に対して、せめて台所の流しやトイレ、ふる場のドアなどを新しいものに取り替えて快適に暮らせるようにするべきだと思います。

みんなで話し合って要望を届けましょう。



生活・雇用・子どもだて・教育など何でもお気軽にご相談ください

連絡先

南豊子区議会議員

電話(3790)1523